

各位

A b a l a n c e 株式会社
 代表取締役社長 光行康明
 (コード番号: 3856 東証二部)
 問合せ先: 経営企画室長 河内祐一
 電話: 03-6864-4001 (代表)

業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成30年8月14日に公表いたしました令和元年6月期 通期(平成30年7月1日～令和元年6月30日)の連結業績予想値と本日発表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和元年6月期 連結業績予想値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,323	512	562	377	72.67
今回実績値(B)	5,984	608	566	316	61.16
増減額(B-A)	△1,338	96	4	△60	
増減率(%)	△18.3%	18.8%	0.7%	△16.2%	
(ご参考)前年通期実績 (平成30年6月期通期)	7,300	926	874	756	145.92

2. 差異の理由

当社グループでは、グループ企業価値向上を図る観点から自己資本利益率を重視し、太陽光発電所の売却による収益獲得を主とするビジネスモデルから、発電所を継続的に保有することにより中長期的に安定的な売電収益を確保するビジネスモデルへ再編を進めております。

当連結会計年度は当該ビジネスモデル再編の移行期にあるため、「中期経営計画」(平成30年8月14日公表)において当初想定していた発電所の売却を極力控え建設案件を含む自社保有へのシフトを進めて参りました結果、当連結会計年度の通期連結業績予想の売上高7,323百万円に対し5,984百万円と18.3%の未達となりました。通期連結業績予想に対して売上高が未達となった中、営業利益は通期連結業績予想に対し18.8%増、経常利益は0.7%増と堅調に進捗しましたのは、一部の分譲ソーラー案件の売却において工事費、モジュール、PCS、架台等のコスト圧縮等が寄与したものであります。

以上